

光陽興産株式会社

DX戦略 2023



1.DX推進における基本方針

1. バックオフィス業務は効率性を重視し、業務の最適化により残業を削減する。
2. デジタル技術を活用し、従業員が働きやすく定着しやすい環境をつくる。
3. BIツールを活用したデータドリブン戦略により、お客様に対して付加価値の
高いサービス提供を行う。
4. DX人材の育成を行う。

2.DX推進プロジェクト達成状況をはかる指標

以下の指標をKPI指標として、DX推進プロジェクトの達成度を管理する。

1.業務効率化による、1人当たり残業時間の削減

2022年度 実績:14.8時間/月

2026年度 目標: 5.0時間/月(▲9.8時間/月の削減)

2.DX人材の育成

2026年度 目標

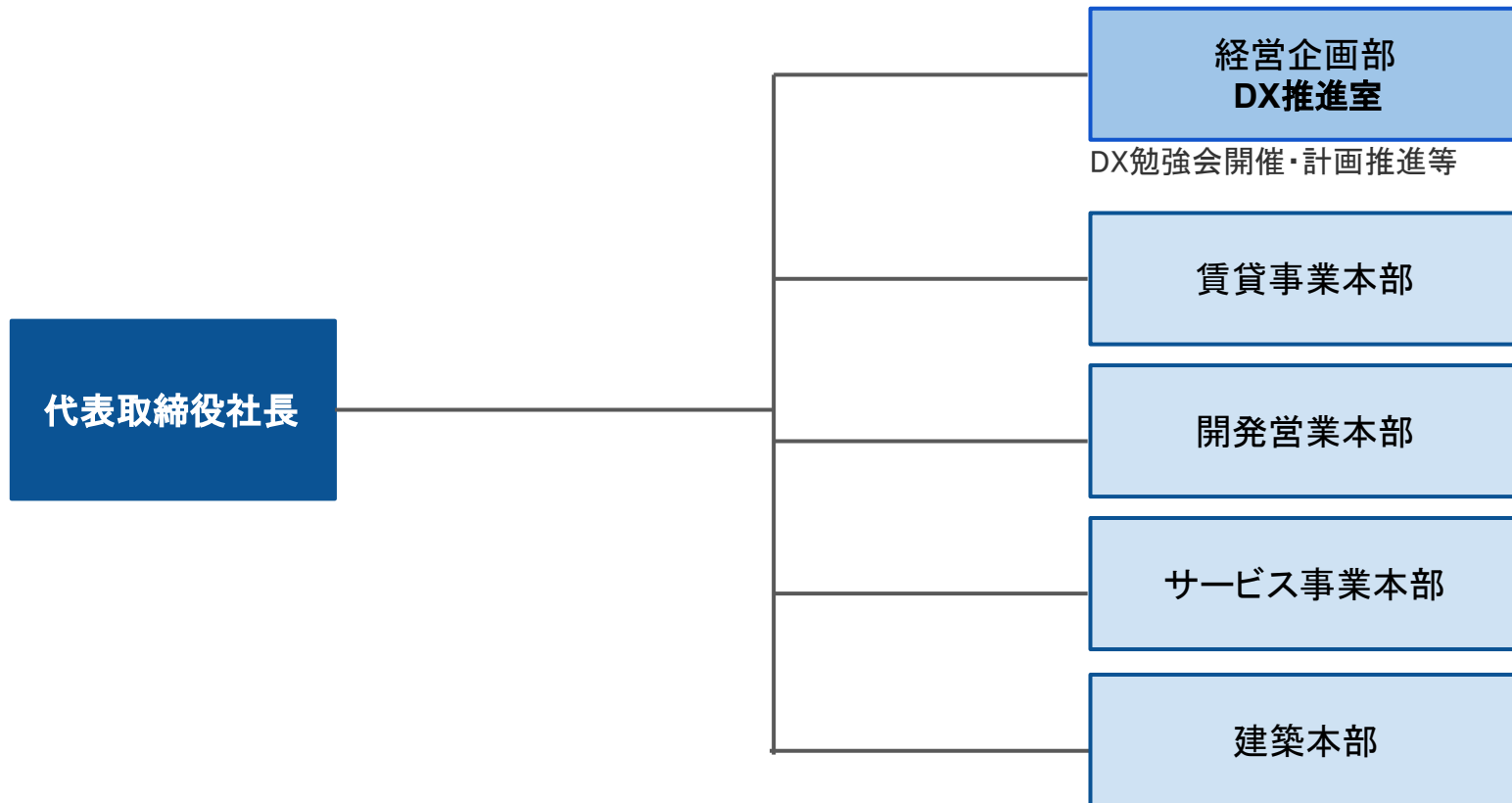
①ITパスポート資格所持者:20名

②BIツール 活用者:全社員

作成者:全社員の50%

3.DX推進体制

代表取締役社長と経営企画部 DX推進室が、事業横断でDXを推進していきます。



4.DX人材育成に向けた取り組み

内容	目的	開催頻度
ITツール(iPad等)活用研修	<ul style="list-style-type: none">・毎年繰り返し行う事で素戻りを防ぐ・レベルに分けた開催でステップアップ	年1回
ルッカースタジオ勉強会	<ul style="list-style-type: none">・ツールを活用した、成功事例の共有・さらなるブラッシュアップの為情報交換	月2回
データドリブン大会	<ul style="list-style-type: none">・データ分析による「成果」の発表・上位入賞チームの表彰	半期に1回
外部研修への参加	<ul style="list-style-type: none">・必要に応じてGAS等の外部研修に参加しスキルアップを図る	都度

5.デジタルツールの活用

当社は、DX推進のために下表のデジタル技術の導入や環境整備に取り組んでいます。

主な活用部署	主なデジタルツール	活用内容
全社	KING OF TIME	勤怠管理のデジタル化
全社	chatwork	情報共有・コミュニケーション
全社	Googleスプレッドシート	データ管理のクラウド化
全社	iPad	業務ツールとして全社員にiPad配布
全社	Googleドライブ	社内LAN DISKのクラウド化
全社	ルッカースタジオ	データ分析ツールによるデータドリブン経営
全社	ourly	社内報のWEB化(情報共有・コミュニケーション)
賃貸事業本部	申込受付くん	賃貸申し込み業務のデジタル化
賃貸事業本部	ZOOM、LINE	物件内見・重要事項説明のオンライン化
賃貸事業本部	室内チェッククラウド	入居後チェックシートのデジタル化
サービス事業本部	Airレジ	商品在庫管理
サービス事業本部	Googleフォーム	お客様アンケート

iPad活用事例:不動産賃貸営業の空室確認作業の場合

Before

- ①営業スタッフが外出先から事務所スタッフに電話で空室確認依頼
- ②事務所スタッフが空室一覧ホワイトボード前まで行き、空室を確認
- ③営業スタッフに電話で空室情報や鍵情報を連絡

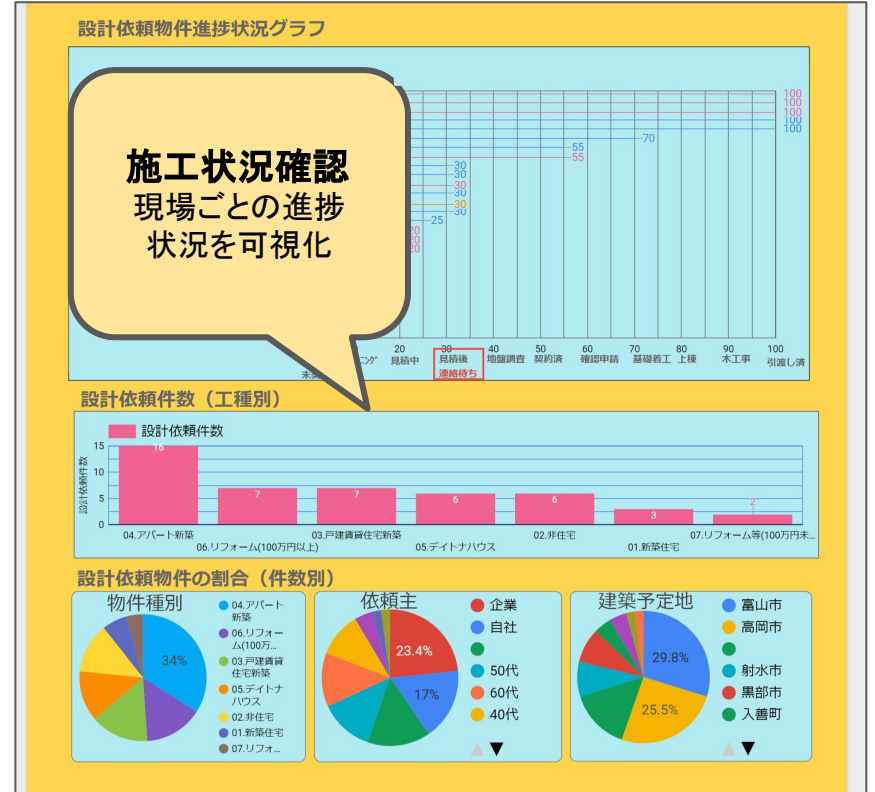
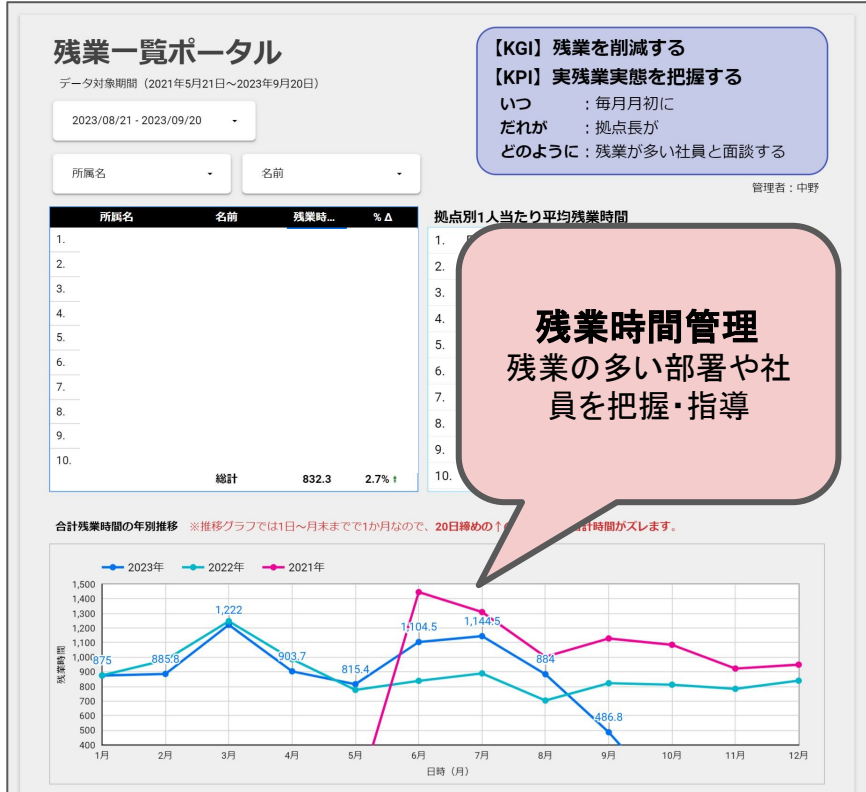
合計:約5分/回

After

- ・全社員へのiPadの配布
 - ・空室/鍵情報のスプレッドシート化
- により業務効率化を実現
- ①外出先からiPadでスプレッドシートを開き、空室や鍵情報を確認

合計:約1分/回

Looker Studio活用事例



6.DX推進シナリオ

	Phsse1 現在まで(~2023年)	Phsse2 中期計画(~2025年)	Phsse3 長期課題(~2028年)
バックヤード業務の デジタル化	<p>IT活用によるデータ可視化</p> <p>Looker Studioを活用して、残業が多い部署や社員および現場ごとの施工状況の可視化を実施。現場ごとの進捗を正確に把握することができるようになり、適正な人員配置やアウトソーシングの活用により、残業時間を削減した。</p>	<p>業務自動化</p> <p>RPAやGASを導入し、業務の自動化を推進。 (例)各システムからのCSVデータダウンロード等のルーティン作業を自動化し、効率化を図る。</p>	<p>ノーコードツールの導入</p> <p>管理方法がバラバラになっている各データを集約する基幹システムを構成する。 各データの結合によりさらなるデータ活用を可能にし、業務効率化に繋げる。 (例)顧客情報、売上情報、在庫情報、経費情報等</p>
IT人材の創出	<p>ITスキルの現状</p> <p>ITスキル習得について現在実施している取り組みはなく、社員間でスキルのバラつきがある。</p>	<p>社内評価制度の整備</p> <p>ITスキル習得状況の可視化と、社内資格制度・人事評価制度の整備を行い、IT人材育成の土壌形成。</p>	<p>DX人材の育成</p> <p>社内外の研修参加でITスキルアップを図り、人事評価に反映。 全社レベルで、DX課題解決できる水準までITスキルを向上する。</p>
組織体制の変革	<p>DX推進室の設立</p> <p>代表直轄の経営企画部・DX推進部署を組成。</p>	<p>組織横断チームの設立</p> <p>事業部に捉われず、各事業部からメンバーを選出しDX推進活動を実施する。</p>	<p>部門横断的なお客様支援</p> <p>お客様に寄り添った全社的なDX戦略を策定し、課題解決を実現する。</p>



光陽興産株式会社

KOYO KOUSAN Co.,Ltd.